回覧付属資料【第 2 回議事録】

第 2 回 十四山東部小学校閉校イベント準備会　議事録

会議名	十四山東部小学校 閉校イベント準備会（第 2 回）
日時	2026 年 8 月 8 日（土）18:00～20:10
会場	TKE スポーツセンター　第 2 アリーナ
主催	十四山東部小学校閉校イベント準備会（仮称）
出席	地域住民、卒業生、保護者、学校関係者、弥富市教育委員会関係者、世話人ほか
配布資料	①説明・投影資料　②第 1 回議事録　③参加者アンケート

1. 会議の目的

第 1 回準備説明会で生まれた企画の種をテーマ別に整理し、参加者同士の意見交換を通じて、企画を一歩具体化するとともに、実現に必要な条件、確認・調査事項、次回までに動けることを見つけることを目的として開催した。また、組織化を先行させず、企画の具体化に応じて必要な役割と関わる人を見いだしていく今後の進め方を共有した。

2. 議事次第

・開会・学校あいさつ

・世話人代表による説明（第 1 回の振り返り、今後の進め方、改定スケジュール）

・3 テーマによるグループ意見交換（3 ラウンド）

・各グループ発表・全体共有

・次回までの「小さな宿題」の確認

・次回日程・LINE グループ・アンケート等の案内

3. 議事概要

（1）開会・学校あいさつ

学校側から、十四山東部小学校は長い歴史の中で地域に支えられてきた学校であり、閉校に向けた取組についても地域の思いや願いを大切にしながら進めたいことが述べられた。また、学校として参加者の考えを聞きながら可能な範囲で協力し、児童、卒業生、地域住民にとって思い出に残るイベントになることを願うとの意向が示された。

（2）第 1 回の振り返りと今後の進め方

・第 1 回で出た「昔の写真・資料展示」「校歌」「昔の行事」「給食」「校舎活用」「地域行事」「記念品・記録」「在校生と未来をつなぐ企画」等を振り返り、本日はそれらを深掘りする場とすることが共有された。

・閉校イベントの前提として、十四山東部小・十四山西部小・大藤小・栄南小の 4 校統合であること、各校の閉校イベントとの一定のバランスに配慮しつつ、十四山東部小学校らしい区切りを考える方針を再確認した。

・閉校イベントの意義として、学校への感謝、地域のつながり、在校生の未来への後押し、歴史・記録の継承という考え方を再共有した。

・第 1 回では実行委員会の組織イメージを示していたが、現段階で役職や体制を先に固定するのではなく、まず企画を具体化し、その実現に必要な役割を見いだし、実際に関われる人をその都度募りながら体制を整えていく進め方へ整理することが説明された。

・年内は準備会として企画の輪郭をつくり、2027 年 1 月頃から準備を本格化する。イベント開催は 2027 年 11 月頃を目安とし、具体的な開催日は第 3 回準備会までに案内できるよう調整する方針が示された。

（3）グループ意見交換の進め方

第 1 回で出た企画案を、A「思い出・歴史を残す」、B「学校をもう一度楽しむ・体験する」、C「地域・世代をつなぎ、未来へ継承」の 3 テーマに整理し、参加者が関心のあるテーブルで意見交換を行った。

・第 1 ラウンド：アイデアを広げる

・第 2 ラウンド：アイデアを具体化する

・第 3 ラウンド：実現に必要なこと、確認・調査事項、次の一歩を考える

各ラウンドは 15～20 分程度を目安とし、希望者はテーブルを移動、同じテーマをさらに深めたい場合はそのまま残る方式とした。各テーブルには話をつなぐテーブルホストを置き、付箋・ワークシートへ意見を記録しながら議論を積み重ねた。

（4）グループ A「思い出・歴史を残す」

項目	主な意見・アイデア
同窓会・卒業生参加	プチ同窓会、年代・卒業年度ごとの集まり、学校内での同窓会等を通じて卒業生の参加を広げる案が出た。若い世代が参加しやすい時間帯も含め、参加方法を工夫する必要があるとの意見があった。

項目	主な意見・アイデア
歴代教職員との再会	昔の先生を招き、卒業生が「会いたい先生」と再会できる機会を設ける案が出た。
卒業アルバム・写真	世代ごとの卒業アルバムを並べ、白黒からカラーへの変化など学校の歩みを見せる案が出た。航空写真や学校に残る写真・資料の活用も検討する。
歴史ギャラリー	写真、学校資料、卒業アルバム、記念品、映像等を組み合わせ、十四山東部小学校の歴史や変遷をギャラリー形式で見せる案が出た。
校歌	校歌がいつ頃できたのかを調べ、当日に流す、みんなで歌う、関係者を招く等の活用案が出た。
映像・デジタル記録	学校に保存されている映像や VHS 等の古い記録を確認し、デジタル化や上映・展示への活用を検討する案が出た。
事前広報・期待づくり	ホームページ等で映像や企画内容を事前に公開し、当日への期待を高め、参加の入口をつくる案が出た。
記念品・思い出の品	過去にもらった記念品等を「思い出の品」として展示し、地域からも公募する案が出た。
確認課題	写真・卒業アルバム・映像の公開範囲や個人情報、学校内での同窓会・展示等の利用条件、資料の所在確認が必要との意見があった。

（5）グループ B「学校をもう一度楽しむ・体験する」

項目	主な意見・アイデア
同窓会・集客	事前に同窓会等を行い、卒業生同士のつながりを通じてイベント参加を広げる案が出た。
食・給食	焼き芋大会、世代ごとの給食メニューの紹介・試食、「食べたい給食」等の事前アンケートなど、食を通じた世代交流案が出た。
校舎見学・回遊	校舎見学ツアー、教室を巡るスタンプラリー、校内を使った宝探し・かくれんぼ等、学校そのものを体験する企画案が出た。
交通公園の活用	十四山東部小学校の特徴である交通公園や校内の線路等を活かし、ミニ SL、自転車に関する体験・見学企画等に活用できないかとの意見が出た。
地域の歌・踊り	十四山音頭等、地域で親しまれてきた歌や盆踊りをみんなで楽しむ案が出た。

項目	主な意見・アイデア
昔の遊び	牛乳瓶のふた遊び、靴飛ばし、あや取り、ゴム跳び、お手玉等、世代ごとの昔遊びを再現するコーナー案が出た。村民体育祭等で行われた遊び・競技も参考にする。
地区対抗・スポーツ	地区ごとの対抗リレー、フリースロー大会、PK 大会等、世代や地区を超えて参加できる競技案が出た。
人との再会・学び	「ようこそ先輩」コーナーで卒業生の職業・特技を紹介する案や、「あの先生に会いたい」企画など、人物を軸にした交流案が出た。
抽選・参加促進	事前に抽選券を配布する抽選会等、来場のきっかけをつくる企画も提案された。
学校らしい遊び・企画	黒板アート、○×クイズ、クラブ・音楽発表等、学校生活を思い起こさせる参加型企画が複数出た。

（6）グループ C「地域・世代をつなぎ、未来へ継承」

項目	主な意見・アイデア
人集め・組織づくり	今後の具体的準備に向け、協力して動ける人を増やす必要があるとの意見が出た。現役 PTA・PTA OB 等にも声をかけ、中心となって動く 5～6 人程度のメンバーをつくる案が出た。
自治会との連携	区長・自治会役員等へ早い段階から説明し、地域の協力者や関係団体へつないでもらう必要があるとの意見が出た。町内へのチラシ配布等も検討する。
地域団体・商工関係	商工会、消防団、地域団体等へ協力を求め、地域の人的ネットワークを活かす案が出た。
費用・協賛	企画内容によっては費用が必要になるため、協賛や資金確保、地域企業等との連携を検討する必要があるとの意見が出た。
伝統芸能・祭り	神楽、太鼓、棒の手等、各地区に残る伝統芸能や祭りを紹介・再現し、小学生・卒業生など次世代へつなぐ案が出た。地区対抗運動会や字別の企画等、昔の地域行事も参考にする。
音楽・発表	消防・警察等の音楽隊への出演依頼、子どものダンス発表等、地域や世代を巻き込むステージ企画が提案された。
記念品	T シャツ、タオル、バッジ等の記念品を制作し、販売や協賛者への返礼等に活用する案が出た。

項目	主な意見・アイデア
展示・校内活用	体育館での展示、卒業アルバムや写真の拡大展示、歴代校長等の写真、各教室への資料コーナー設置等の案が出た。

（7）次回までの「小さな宿題」と関わり方

各グループ発表後、出た課題や疑問をすべて世話人だけが持ち帰るのではなく、参加者が伝手・知識・時間の範囲で「少し調べる」「聞いてみる」「声をかける」ことを分担していく考えが共有された。正式な担当者を決めるものではなく、できる人ができることを担う形とする。

・自宅や地域に残る写真、卒業アルバム、過去の映像・資料等を探す。

・自治会、地域団体、PTA・OB 等に閉校イベントの準備状況を伝え、今後の協力について事前に声をかける。

・校歌、歴代教職員、音楽隊、地域芸能等の関係者を知る場合は、紹介や情報提供につなげる。

・気になる企画について、費用、実施方法、他地域の事例等を調べる。

・校舎・教室・交通公園等の利用条件や学校への確認事項を整理する。

（8）閉会・次回案内

・第 3 回準備会は 2026 年 11 月 7 日（土）18:00 から十四山東部小学校で開催する。会場は体育館または校舎内多目的室を予定する。

・第 3 回では、今回深掘りした企画について、調査・確認結果も持ち寄りながら企画の検証・整理を進める。

・2027 年 11 月頃を目安としている閉校イベントの具体的な開催日について、第 3 回までに案内できるよう学校側等と調整する。

・今後の準備会案内・情報共有・相談等のため、閉校イベント準備会の LINE グループを活用し、関心のある地域住民等にも参加を呼びかける。

・参加者アンケートを回収し、今後の企画検討や関わり方の把握に活用する。

4. 決定事項・継続確認事項

・2026 年内は準備会として企画の具体化を優先し、正式な実行委員会の役職・体制を先に固定しない。企画の進行に応じて必要な役割と関わる人を見いだし、体制を整える。

・閉校イベントは 2027 年 11 月頃の開催を当面の目安とし、具体的な開催日は第 3 回準備会までの決定・案内を目指す。

・第 3 回準備会は 2026 年 11 月 7 日（土）18:00 から十四山東部小学校で開催する。

・企画の検討と並行し、「できる人が、できることを」の考え方で、参加者・地域住民による小さな調査・紹介・声かけを積み重ねる。

・自治会、PTA・OB、地域団体、商工関係者等への情報共有・協力依頼を段階的に進める。

5. 今後の検討課題

・卒業アルバム、写真、映像、学校資料等の所在確認、収集方法、デジタル化、個人情報・肖像等への配慮。

・歴代教職員、校歌関係者、卒業生等への連絡方法と、同窓会・再会企画の実施条件。

・校舎、教室、体育館、交通公園等を使用する企画の安全面・利用条件・学校との調整。

・給食、飲食、キッチンカー等を伴う場合の実施方法、衛生・費用・運営条件。

・地域の祭り・神楽・太鼓・棒の手等の伝統芸能、音楽隊、地域団体等との連携可能性。

・企画費用の概算、協賛・資金確保、記念品販売等の可能性。

・実働準備を担う人材の拡大と、企画の進捗に応じた実行委員会体制の具体化。

・閉校イベントの具体的な開催日の調整・決定。

6. 次回会議

・会議名：第 3 回 十四山東部小学校閉校イベント準備会

・日時：2026 年 11 月 7 日（土）18:00～（受付 17:40～）

・会場：十四山東部小学校　体育館または校舎内多目的室

・主な予定議題：企画案の検証・整理、調査・確認事項の共有、閉校イベントの企画の柱の整理、開催日および今後の進め方の確認など

7. 会議後の進捗（追記）

第 2 回準備会で C グループから出た「自治会へ早い段階から説明し、協力を求める」意見を受け、2026 年 8 月 22 日に開催された十四山地区の防災部会（十四山東部小学校区・十四山西部小学校区の区長、区長補助員等が参加）において、世話人代表から閉校イベントの準備状況を説明した。あわせて、今年度の企画づくりへの参加・意見提供、今後の回覧・アンケート等の周知協力、2027 年度の具体的準備・当日運営に向けた地域内の人材・団体への橋渡し等について協力を依頼した。

8. 備考

本議事録は、当日の録音テキスト、投影・配布資料、各グループの発表内容、およびグループワークで作成した付箋・メモ書きの記録を突き合わせ、重複する意見を整理・統合したうえで作成した。今後の準備過程で発生する課題の整理・検討の基礎資料として位置づけ、各会議において経緯・論点・判断・実施状況を継続して記録する。

以上

議事録作成者

十四山東部小学校閉校イベント準備会（仮称）

世話人　鈴木裕一